

裾野麗峰山の会山行報告書

文・浜道 写真・後藤

山行番 NO. 1588B
日時 2014.03.23(日)
山域 八ツ・横岳(2829m)
参加者 後藤隆徳、浜道久美子=2名

タイム 海ノ口別荘地発6:30-北沢を渡る7:14-森林限界(赤岳見える)9:40-三叉峰10:50-横岳11:05-森林限界(昼食)11:54-I君から携帯13:34-駐車場13:45-下土狩17:30

標高差 上り=海ノ口駐車場約1680m~横岳2829m=約1149m
下り= //

今年は格別に雪が多い。この時期、清里のペンション街には歩道に雪が残っている。その中で海の口別荘地本道は綺麗に除雪してあるが、一歩中に入ると高さが1m、車が一台通れるくらいの雪の壁になっている。

リーダーが「横岳登山道入り口は分かりにくい。今年は雪に埋もれていてますます分からない」と言う。その中で、リーダーが公衆電話のような登山届提出ポストを発見。近くに駐車場らしき場所もあり、恐らくここだろうと雪壁ぎりぎりに駐車。

さて、これから今度は登山道探した。(本来は登山ポストの横に富士見岩遊歩道と言う標識があり、そこを進むようだが、雪に埋もれて全く分からない)

道標もないところを「この辺りを入れていったような・・・」たまたま後ろから来た登山者一名は左の道へ行ってしまい、慌てたが、結局同じ道に出た。別荘が並ぶ中、やっと道標を発見。30分経過してしまった。さらに別荘地内を横断する。

別荘地を外れ 2か所貯水ダムの下流の浅瀬を渡り、東屋と大きな看板のある広い場所に出た。ここからが本格的な登山道だ。北沢に掛かっている橋を渡る。雪に覆われているので滑らないよう要注意。鬱蒼とした杣添尾根(そまぞえおね)の開始だ。表面がガチガチに凍っている雪面に有難いことにトレースがある。

ダケカンバの樹林帯をバリバリと歩く。暫く上がったところで、リーダーからアイゼン着用の指示が出た。先日の雨で凍っている所や急登がある。とにかく延々と上る。

太陽がちらちら差し込んできた辺りで冷たい風を感じる。樹林帯も終わりに近い。ここで防風、落下対策をしてさらに上がる。

橋を渡ってから2時間半やっと、空が広がる。急に日差しが強くなり左前方に赤岳が右前方には横岳がそそり立つ。スカイブルーと輝く白とのコントラストに思わず見とれてしまう。後方には富士山も展望できる。

ここからは狭い尾根伝いに暫く歩く。ハエマツの先がちらちらしか見えないうらい雪が深い。木々の枝にツララがきらきらと輝いている。防風手袋をしないと手がじん



海ノ口別荘地



登山口？！



大きな岳樺



赤岳の威容



森林限界



バックは金峰山

じんと痺れてくる。

冷たい風が容赦なく吹き付ける場所だ。歩き始めてから3時間半、とにかく苦しい。今までの急登以上の急登が目の前に現れた。表面が凍っている。アイゼンで踏み込めば何とか上がれそう。先程樹林帯で、リーダーが下山の危険さを考慮しての指示でハーネス着用をしていた。

この三叉峰（さんじゃほう）のことだったのかとあらためて見上げた。想定される準備は怠らないのはやはりリーダーだ。感謝です。ロープで確保してもらい足元を確認しながらゆっくりと上がる。この2825m地点を越え、一旦下る。そして目指す横岳。この間2人の単独登山者に先を越された。今日の杣添尾根からの登山者は4名。

横岳山頂に上がる前に金属製の階段が2つある。アイゼンで階段を上がるのは不安定で怖いものだ。先日金時山でワカンを履き雪に覆われた階段の上り下りをしたが非常に怖かった。何回か滑った。

今日は雪こそないが反って雪に覆われていた方が安心。その階段を上りきって目前の横岳山頂2829mに登頂。いつの間にか風も治まり、苦しくて辛かったことを忘れさせくれるこの360度のダイナミックな景色に感謝。山頂にいた2人の若者たちもすぐに下山を始め、私たちも感動を胸に下山開始。

緊張していたせいとお腹もすかなかつたが、私が一番危険とされていた三叉峰をまたロープで確保してもらい下った辺りから空腹を覚えた。足も疲れがピークになりつつあるので慎重に樹林帯限界まで降りる。

昼食を摂り、リーダーが下山は1時間半と言う。え！上りが4時間半掛かっているのにといいながらついて行く。相変わらずリーダーの下りは早い。見落とさないように必死について行く。トレースが頼りの下りだった。リーダーの言うとおりの下山時間に驚きで感謝でした。

今年の災害をもたらす大雪が3月になりやっと落ち着いてきた。富士山も例年になく下部まで真っ白で嬉しい。しかしいきなりの暖かさで雪崩等の心配の中、晴天の登山が出来たことを心から喜んでいる。

晴天を希望していても天候は思うようにならない。なんてラッキーな一日だった。お彼岸のお墓参りが功を奏したのか！万物に感謝です。有難うございました。



稜線を上る



横岳頂上
頂上標柱が倒れている



梯子



下山

北沢

